



北海道議会議員

2025年 春号

No.23



木葉淳

道政報告

◆◆◆ 2025年度一般会計当初予算 ◆◆◆

第1回定例北海道議会は2/19～3/18の間開催し、2025年度総額3兆505億円余、及び、328億円余の24年度追加補正予算等を議決しました。鈴木知事は、冒頭の道政執行方針の説明に当たり、「北海道のポテンシャルを形に」「地域の力を高める」視点のもと、道政運営を進めるとしました。

コロナ禍以降、人口減少、働き手不足、物価の高騰・高止まり等課題が明らかとなっている本道です。私は、道民一人一人の声に丁寧に対応する道政の実現に向け、引き続き、草の根からのまちづくりを進めていきます。

「こどもまんなか社会」の実現

日本が「子どもの権利条約」を批准してから30年を迎えました。今、全国の自治体では「子どもの権利」に関する条例が議論されています。北海道議会においても、子どもたちが健やかに成長できる社会の実現

に向け、今定例会で「こども基本条例」が提案・議決されました。今後は条例に基づき、「子どもの権利」に関する理解を社会全体で深めていく必要があります。



物価高騰対策補正予算

● お米券 牛乳券

- 対象 子育て世帯(18歳以下の子どもを養育する父母等)
- 内容 4～6月
- 申請 5,000円相当の商品券



● LPガス料金値引き

- 対象 LPガス販売事業者
- 内容 3～6月の期間中、事業者が消費者に対し1契約当たり2,000円値引き



新年度の取組と予算の概要

● 総合防災体制整備費 → 2億6,800万円

防災訓練や防災教育、避難所用備蓄物資の充実等(簡易ベッド、シェルターテント、トイレコンテナ、水循環シャワー等)避難所環境改善敷材整備への支援。

私の考え

熊本地震・能登地震では、死者数の半数以上が避難後に亡くなる、災害関連死が占めています。国際基準(スフィア基準)に基づいた避難所用備蓄を進めることが重要です。



● 医療需要等の変化を踏まえた医療機関支援等事業費 → 23億8,400万円

出生数や患者の減少等を踏まえた医療機関(分娩数が急減している医療機関、患者数が急減している小児中核病院、病床数の適正化を進める医療機関)の運営費に対する支援。

私の考え

少子化が進む中、「こどもまんなか社会」の実現には、不採算医療と言われる周産期・小児の医療機関を守ることが重要です。併せて、誰もが安心して暮らせる地域に向け、10年20年先の地域医療の議論を進めます。



● 新基本計画実装・農業構造転換支援事業費

→ 180億5,300万円

農業の構造転換の実現に向け、老朽化した共同利用施設の再編集約・合理化を促進するための農業者団体等が行う施設整備に対する支援。

※道の上乗せ品目(小麦・大豆・馬鈴しょ・てん菜)

私の考え

食料安全保障の重要性が高まる中、日本の食料供給地域北海道が、安心・安全で良質な食料を安定的に生産できる対策が必要です。食料自給率の向上に資する議論を進めます。



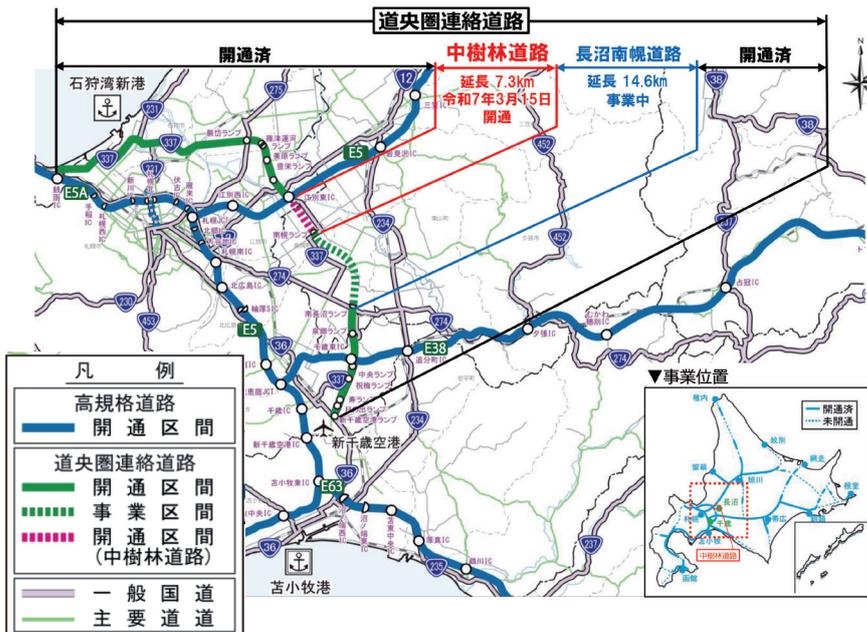


道央圏連絡道路(中樹林道路)開通



この度開通した道央圏連絡道路、通称中樹林道路は、千歳市から小樽市までを結ぶ高規格道路です。北海道縦貫自動車道江別東ICと接続し、高速ネットワークの拡充による札幌圏の連絡機能の強化を図ることで、地域間交流の活性化や新千歳空港、苫小牧港等への物流効率化等を実現します。

今回はその内の未開通区間となっていた南幌町から江別市に至る延長7.3kmが開通しました。残す南幌長沼間が完成することで、利便性はさらに向上します。早期の完成に向け引き続き関係機関へ要望を強化していきます。



Kiba Jun' photo



木葉 淳 (きば じゅん) 54歳

出身 函館市 住まい 江別市大麻新町

職歴 北海道教育大学卒業後 江別第二小学校 や対雁小学校等 小学校教員として25年勤務

所属 農政委員会、人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会

趣味 ファイターズの応援

メール kibajun0814@gmail.com まで

ホームページへ

『語り合おうかい』 お越しください!!

【とき】6月8日(日) 14:00~15:00

【ところ】木葉淳道政事務所 江別市野幌町79-7

【テーマ】米価(物価)高騰等

【その他】参加費無料・事前申し込み不要
江別市議会議員も参加予定です